

数矢小学校は、こんな学校です

江東区立数矢小学校
校長 澤田 純二

数矢小学校は、こんな学校です

- 教室数 通常 25 (令和7年度は26)
- その他 音楽2 図工2 理科 家庭科
算数2 英語 他
- 運動場 第1校庭 第2校庭 体育館
- プール 25m4コース
- 児童数 788名 (8月25日現在)
- 1, 4, 5学年4学級 2, 3学年5学級
- 主な学校行事、沿革史 . . . HP参照

江東区立数矢小学校は、令和7年度、開校113周年を迎えます。学区域には親子3世代にわたる在校生、卒業生も多く、地域に根ざした学校環境の中で、保護者・地域の多大なる協力を得ながら学校の教育活動を進めています。来年度よりコミュニティ・スクールとなり、「地域で学び、地域を生かし、地域と行動する」を合言葉にして教育活動に取り組んでいます。

教育目標

人や自然との関わりの中で、未来を切り拓くための資質や能力を育み、共に支え、共に生き、将来に夢や希望を抱きながら生活できる児童の育成を目指し、次の目標を設定する。

- たくましい子
- 響き合える子
- よく考える子

文科省が目指す「生きる力」は、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力からなるものです。本校の教育目標および目指す児童像もこれに習って、上記のようにしています。

学校教育目標

たくましい子

からだづくり

よく考える子

あたまづくり

こころづくり

なかまづくり

響き合える子



数矢小を誇りに思える学校づくり

こども	安心できる学校 人と自然と関わり合える学校 自分の成長を実感できる学校
保護者 地域 教職員	通わせてよかったと思える学校 地域とともに歩む学校 働いてよかったと思える学校 【教師としてのプライドをもつ】

キーワード
「かずやの子」

か かんがえる

あたまづくり
学力の向上

主体的・対話的で深い学び

基礎的・基本的な学習内容
問題解決的な学習
自ら学習を調節する力の育成
思考力・判断力・表現力
アナログとデジタルの併用
自己表現力・語彙力
俳句・読書の学習

ず ずっと

からだづくり
体力の向上

健康で安全な生活と
豊かなスポーツライフ

体育授業改善
コア・セッショントレーニング・環境活用
体育的活動・オリパラ教育
縄跳び、マラソン、SDGs
食育・保健指導
食に関する指導計画
保健指導計画

やさしい

こころづくり

豊かな心の育
成

豊かな心や創造性の涵養を
目指した教育の充実

あいさつ

学級・学年での具体的な取組
学び方スタンダード
スタンダード徹底の取組
たくましい心
自己肯定感とストレス耐性

のびのび

なかまづくり

持続可能な地域社会の
担い手を育てる

- ⑦ 充実感・達成感
学校行事（運動会、展覧会など）
宿泊行事、体験的な学習
- ⑧ 学校評価の充実
学校評価に基づく改善
- ⑨ コミュニケーション
保護者・地域は味方
オンライン化の推進
- ⑩ 愛校心・郷土愛・貢献力
学校行事・地域行事
「自分には何ができるか」

具現化への10の取組

- ① 学級・学年経営、教科指導の充実
主体的・対話的で深い学び、問題解決能力、
週予定表の配布、GIGAスクール構想継続
- ② 体力向上の取組の充実
体育授業改善、わくわくタイム、食育
体育的活動、コア・セッショントレーニングの継続
- ③ 生活指導力の充実
安全指導の見直し、組織的な対応
安全管理体制構築、「数矢のきまり」の定着
ともだちアンケート、保護者アンケート
- ④ 道徳教育・特別支援教育の充実
考え、議論する 多様性・包摂性 人権教育
- ⑤ 特別活動・体験活動の充実
あいさつ運動、縦割り班活動、
日本の伝統文化、キャリアパスポート
- ⑥ レディネスと振り返り
学習の前後、単元の前、学期の前
後スタンダード、振り返り

子

自ら学ぶ

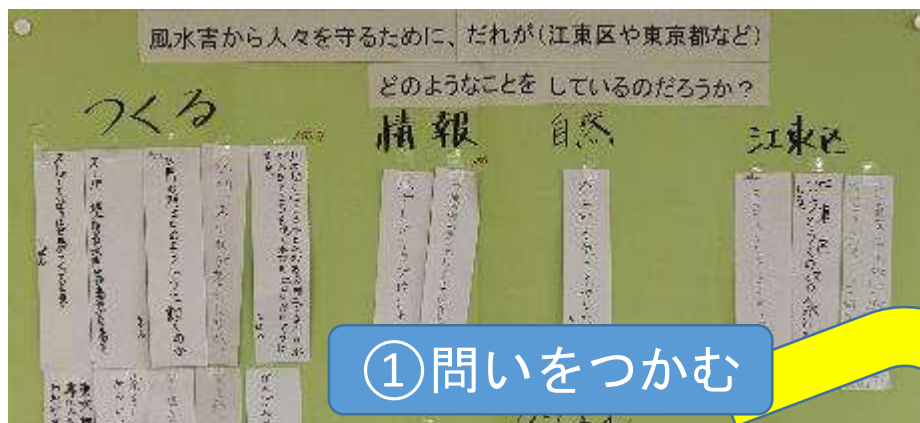
自ら学びを
調節する力



「よく考える子」です。今年度は、問題解決力を育成するために、「自ら学びを調節する力」を重視しています。

よく考える子

問題解決的な学習



② 追究し、
まとめる



問題解決学習を繰り返すことで問題解決の力が身に付いてきます。

- ① 問い（課題）をつかむことが大切です。
- ② 体験的に追究し、調べたり、考えたりして、対話的に学び、まとめます。
- ③ 考えたことを表現（提案）、活用（行動化）します。

よく考える子



追究し、まとめる段階 つまり、知識を得たり、技能を身につけたり、調べたりする段階では、体験的に学ぶ事が重要です。写真は、2年生の図書館探検、4年生の理科の実験、6年生の日光移動教室です。

よく考える子

学び方スタンダード

学び方スタンダードとは、学力向上を図るうえで、確かに身に付けさせたい学習習慣等を示したものです。

- 持ち物 前日に必要な学習用具を準備します
- 着席 授業の始まりの時間を守り、席に着きます
- 挨拶 授業の始めと終わりにあいさつをします
- 姿勢 背筋を伸ばした姿勢で座ります
- 話し方 声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します
- 聴き方 話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます
- 返事 (小・義前) 名前を呼ばれたら「はい！」と返事をします
- 提出物 (中・義後) 提出物の期限を守ります
- 家庭学習 (小・義前) 学年ごとに時間を決めて、家庭学習に取り組みます
(中・義後) 自ら計画を立てて、家庭学習に取り組みます



江東区教育委員会では、平成24年度から区内全小中学生が必ず身に付ける内容を「こうとう学びスタンダード」として示し、小学校は学び方・体力・国語・算数・英語 他のスタンダードに取り組んでいます。さらに、令和2年度からは、新学習指導要領などに対応し、こうとう学びスタンダード（ネクストステージ）として取り組みを発展させています。

よく考える子

基礎的・基本的な学習内容
思考力・判断力・表現力
自己表現力・語彙力



音読・朗読



英語でのコミュニケーション



対話トレーニング
(インタビュー)

図書館見学

こうとう学びスタンダードを使った学習や言語活動等を学習に加えて習熟から活用を目指します。音読や朗読の表現活動を重視してきたことから、本校児童の発表力、表現力の蓄積が進んでいると言えます。聞く力や話す力、英語でのコミュニケーション力を高めることも重要です。そうすることで、学力向上を目指していきます。

よく考える子

芭蕉 縁の深い地域の特色を生かした俳句教育



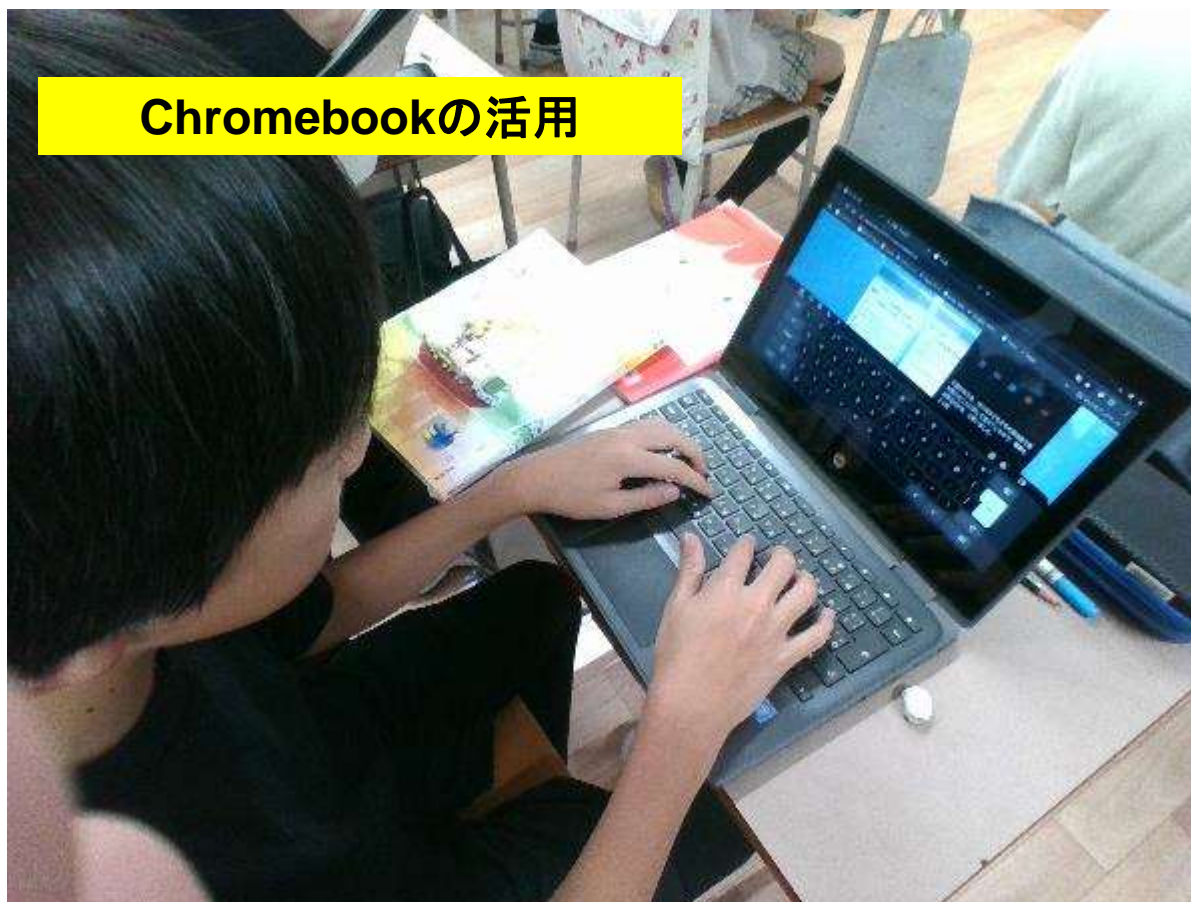
優れた俳句の表彰

江東区では、「こうとう学びスタンダード」国語スタンダード項目の一つとして「季節を感じ、俳句に親しみます」の項を小中学校で取り上げています。本校では、松尾芭蕉ゆかりの地で学ぶ子どもたちとして、言語能力を高めるとともに、俳句の良さを通して感性を磨き、思いやりの心を育てていくことがねらいです。

よく考える子

主体的、協働的な学び

Chromebookの活用



主体的な学びを進めるためには、協働的な学びが重要です。そのためには、場の設定や時間の確保、対話を進めるための教材や思考ツールを活用する等、工夫をしながら学習を進めていく中で、児童も対話力が高まっていきます。本校では、アナログとデジタル（Chromebook）の併用で授業を効率よく進めています。

よく考える子

スタンダード講師を活用した学習



スタンダード強化講師の活用は、体育、国語、算数、英語他の、各教科で成果を上げています。算数科では、担任、算数少人数担当教諭、スタンダード講師で2学級3展開で授業を行っています。T1、T2で行うこともあります。

よく考える子

令和6年度 全国学力学習状況調査（6年生）の結果より

令和6年度

平均正答率(%)	国語科	算数科
数矢小学校	79	77
東京都（公立）	70	68
全国（公立）	67.7	63.4

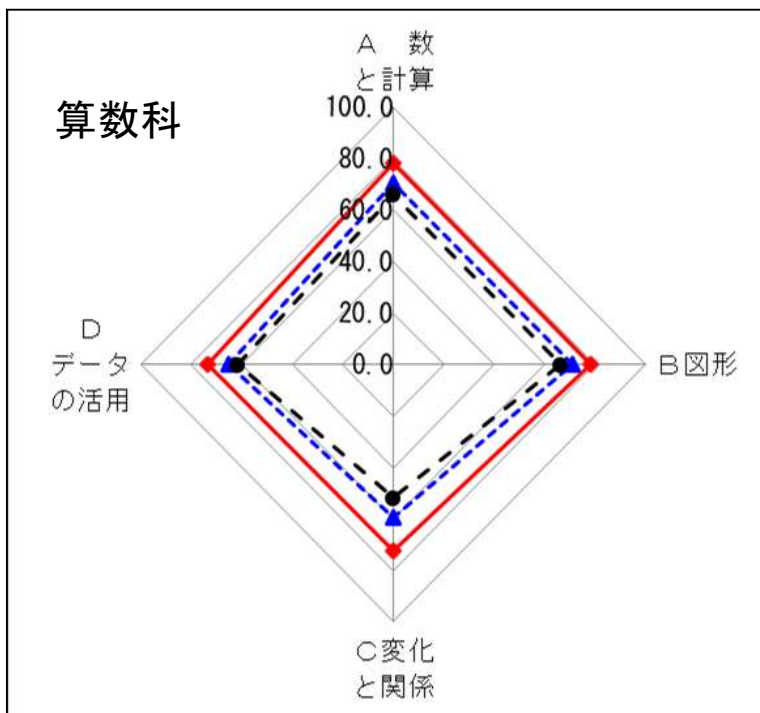
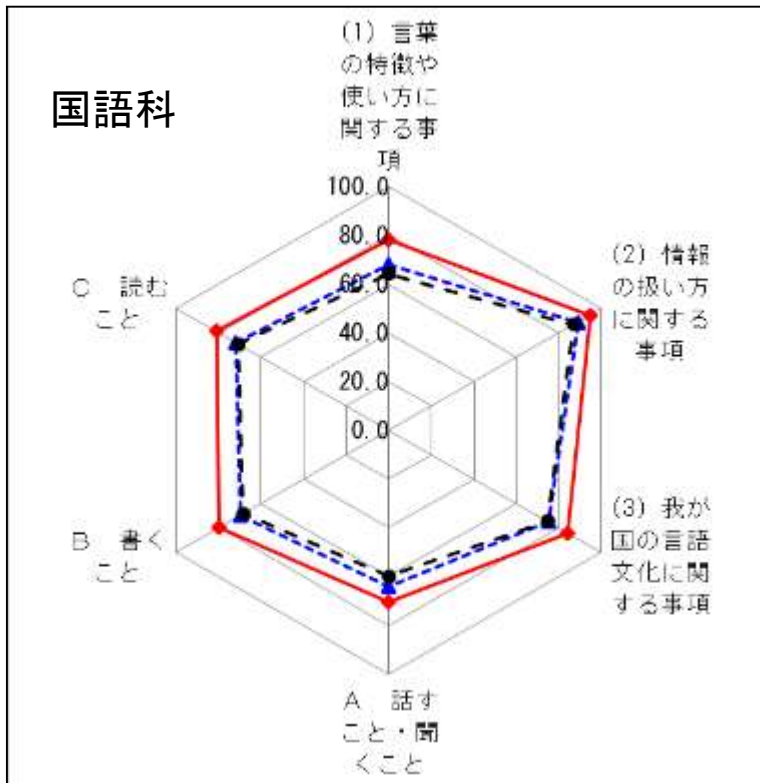
〈結果の概要〉

国語科、算数科ともに、全国や東京都の平均を大きく上回っています。

問題別で分析すると、国語科では、「話す・聞く」の思考力・判断力・表現力が東京都の平均値を下回り、課題があります。

算数科では、下回る学習事項はありませんが、計算技能は確実にできるよう高める必要があります。

自分に関するアンケートでは、学校生活が楽しい90%でよかったのですが、自分のよさの気づきが77.5%だったので、自己肯定感を高めていきたいと思います。



「Challenge Wednesday」の充実に向けて

～こどもたちも、教員も主体的に学ぶ水曜日～

教育推進プラン江東(第2期)「I 確かな学び」について

<児童・生徒の課題>

- 主体的に学習・課題に取り組む態度の育成
 - ・自己の課題や興味関心に応じた学び、学びの見通しが必要
- 「学び方スタンダード」家庭学習の充実
 - ・自主的、計画的に取り組むことが必要<学び方の習得>
- 1人1台端末活用等の情報活用能力の向上
- 将来も見据え、自ら何かに取り組む時間の創出



個に応じて学ぶ時間や場、
学び方の習得が必要

教育推進プラン江東(第2期)「9 学校・教員」について

<教員の課題>

- 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改革の一層の推進
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現、専門性の更なる向上
- ICT機器を効果的に活用した学びの質的向上
 - ・1人1台端末の活用・電子黒板、デジタル教科書の活用
- 働き方改革の推進
 - ・業務の効率化・在校時間の削減
 - ・部活動の在り方改革・休暇取得の促進



研修等の学びの時間や機会・
場の確保、業務の効率化や
負担軽減が必要

教育推進プラン江東(第2期)
「教育のICT化」

「Challenge Wednesday」の設定

水曜日の午後の時間を効果的に活用し、課題解決を図る

<児童・生徒にとって…>

- 水曜日は、原則5校時終了後下校(給食後、下校の場合もあり)
- 原則、部活動や学校での活動はなし ○学校からの課題はなし



★個に応じた学びへの主体的な取組
★「未来を切り拓くための資質能力」
「確かな学力」の向上
★1人1台端末の家庭での活用

<教員にとって…>

- 水曜日の午後は、研究、会議、教材準備、校務を行う時間とする
- 原則、水曜日は定時退勤日とする(退勤時、留守番電話に切替)



Challenge!

- ★自らの課題や興味関心に基づく自主学習
(例)・授業の予習、復習・興味のあることについて調べる
- ★学校で「放課後学習教室」に参加し、学力向上を図る
- ★1人1台端末を活用し、学習のハイブリッド化を図る
- ★図書館で読書、地域の活動、習い事等、主体的に活動

Challenge!

※水曜日の午後の活用例

- ★研究に取り組み、指導力の向上を図る
 - ・区教育研究会(月1回)・校内研究(月1回)
 - ※中学校教科交流授業研究の日(年2回)、江東区連携教育の日(年2回)
- ★必要最低限の会議の効果的な実施(月1~2回)
- ★個人作業日(月1回以上) → 進捗により有給休暇取得

★全ての教員が、1人1台端末・
電子黒板・デジタル教科書を
効果的に活用した授業を実施
★「質の高い授業」「業務の効率化」



よく考える子

放課後学習



学習面を手助けしてくれる「放課後教室」も子どもたちの学びの助けとなっています。

いいところ を見つける

自己肯定感
を高める



響き合える子です。数矢小学校の子は、思いやりのある子どもたちですが、さらに、様々な取り組みによってコミュニケーション能力を高め、自他のよさを認められるようにしていきます。そして、自己肯定感を育てていきます。

響き合える子

元気なあいさつ・心を育てる

おはようございます!!



挨拶は思いやりの心を育てます。本校では、年間を通じて「挨拶運動」を実施し、全校で声掛けや指導を徹底しています。

また、音楽朝会等を通して、感性や心を育てる教育を進めています。



音楽朝会



消防写生会

たてわり班活動

全校遠足



たてわり交流給食



たてわり班活動は児童のリーダーシップやフォロアーシップ、集団として行動する際の社会性など育てていきます。委員会活動やクラブ活動でも、縦割りの良さが発揮されています。

学校探検



展覧会



展覧会では、各学年のこども一人一人の力作な多数並びます。たてわり班でも作品を協力してつくりました。

音楽会



温かい雰囲気音楽会は、こどもたちのやさしい心も育んでくれました。

響き合える子

日光移動教室・岩井臨海学校等 宿泊行事



共同生活の中では様々な問題が生まれます。その問題解決をしていく過程は、互いのことを思いやる気持ちを培うとともに、成功体験での自信が、自己肯定感を高めるとても大切な時間となっています。

響き合える子

いじめ対策

令和6年4月1日
江東区立数矢小学校
校長 澤田 純二

江東区立数矢小学校いじめ防止基本方針

いじめ防止対策推進法第13条に基づき、本校におけるいじめの防止等のための対策に関する基本的な方針を定める。

※ いじめの定義（いじめ防止対策推進法第2条）

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

1 いじめ防止等の基本的な考え方

(1) いじめに対する基本認識

いじめは、いじめを受けた児童・生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものであり、人として決して許されない行為であるという、いじめに対する認識を全校職員で共有する。いじめ防止対策推進法第4条では、「児童等は、いじめを行ってはならない。」（いじめの禁止）と規定されている。

そして、「いじめは、どの学校・学級でも起こりうるものであり、いじめ問題に全く無関係ですむ児童・生徒はいない」という共通認識に立ち、児童・生徒が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わずいじめが行われなくなるようにするため、いじめ防止対策推進法第8条に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組む。

(2) 学校及び学校の教職員の責務（いじめ防止対策推進法第8条）

学校及び学校の教職員は、当該学校に在籍する児童等の保護者、地域住民、児童相談所その他の関係者との連携を図りつつ、学校全体でいじめの未然防止及び早期発見に取り組むとともに、当該学校に在籍する児童等がいじめを受けていると思われるときは、適切かつ迅速にこれに対応する責務を有する。

※特に、いじめを受けた被害者に寄り添った対応を行う。



いじめ

みかたになる
たすける



こえをかける
よりそう

みんな
なかよし



ごめんね



心も体も未熟な子どもたちは、間違いをします。それが「いじめ」という形で出ることもあります。いじめ防止基本方針をもとに、早期発見、早期対応に努めていきます。

心も体も たくましく なる

ストレス耐性
を高める



目指すのは、持続可能な地域社会の担い手としての資質・能力を身に付けようとする心も体もたくましい児童です。人間関係を作る力・自己理解・自己管理能力、課題に対応する力を育成していきます。また、ストレス耐性を高めることで、将来的には、自己の個性を理解して自己実現を図ることができるようにします。今、本校の児童で課題となっていることのひとつが、自分の体のことを知る力です。それをもとに学習していくことで、

日常的な体力づくり



体力テストの結果を分析して、コーディネーショントレーニングや学びスタンダードにも取り組み、体育科の授業に活かしています。また、一人一人の児童に適した体力向上を日常化したり、外遊びを充実させたりすることによって、児童が生涯体育に取り組めるようにします。



運動会・連合運動会



運動会等行事やスポーツ推進など、日常的に体力向上に取り組んでいます。

たくましい子

総合的な健康教育（保健指導・体力向上・食育等）



体幹を意識した姿勢



岩井臨海学校
清掃活動

保健指導・体力向上・食育等、総合的に健康教育を推進することで、生涯にわたり心身共に健康な生活を送るための基礎を培います。給食当番や清掃活動も重要です。ご家庭に協力していただきたいのは、「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底と「体幹」をつくることです。これは豊かな心や学力向上にもつながります。

たくましい子

不登校対策、教育相談、特別支援教育

校内委員会



小一支援員
学習支援員



ひまわり教室
(特別支援教室)



各教科個別指導
自立活動

いじめ対策や不登校対策、教育相談は組織的に取り組んでいます。特別支援教育も、校内委員会を中心にスクールカウンセラーや区の関係諸機関と連携して充実を目指しています。小一支援員や学習支援員、特別支援教室専門員の役割も重要です。基本的には、個別最適な学びを目指して、児童が学習や活動に取り組み、充実感がもてるようにしていくとともに、指導者や他の児童、保護者等からの適切な賞賛を繰り返し得るようにし、結果よりその努力を適切に認めていくことで褒めて自信がもてるようにします。それが、こどもたちの豊かな人間性に繋がっていきます。

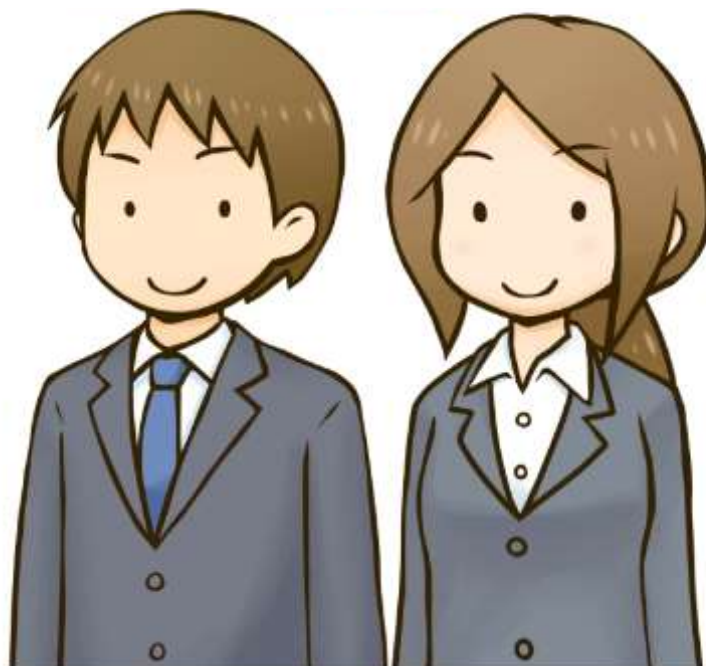
たくましい子

こどもの自立を見守る

- こどもの問題を大人が解決しない
- ストレス耐性を高める（我慢も）
- 価値観を共有する（おしつけない）
- 気持ちを理解し合う（よりそう）
- コミュニケーションを大切にする
- 多くの人と交流する機会をつくる



自己肯定感
と
ストレス耐性



成長…
就職…
自立…

数矢小学校の特色ある教育活動

地域を活かした学び

コミュニティー・スクール



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



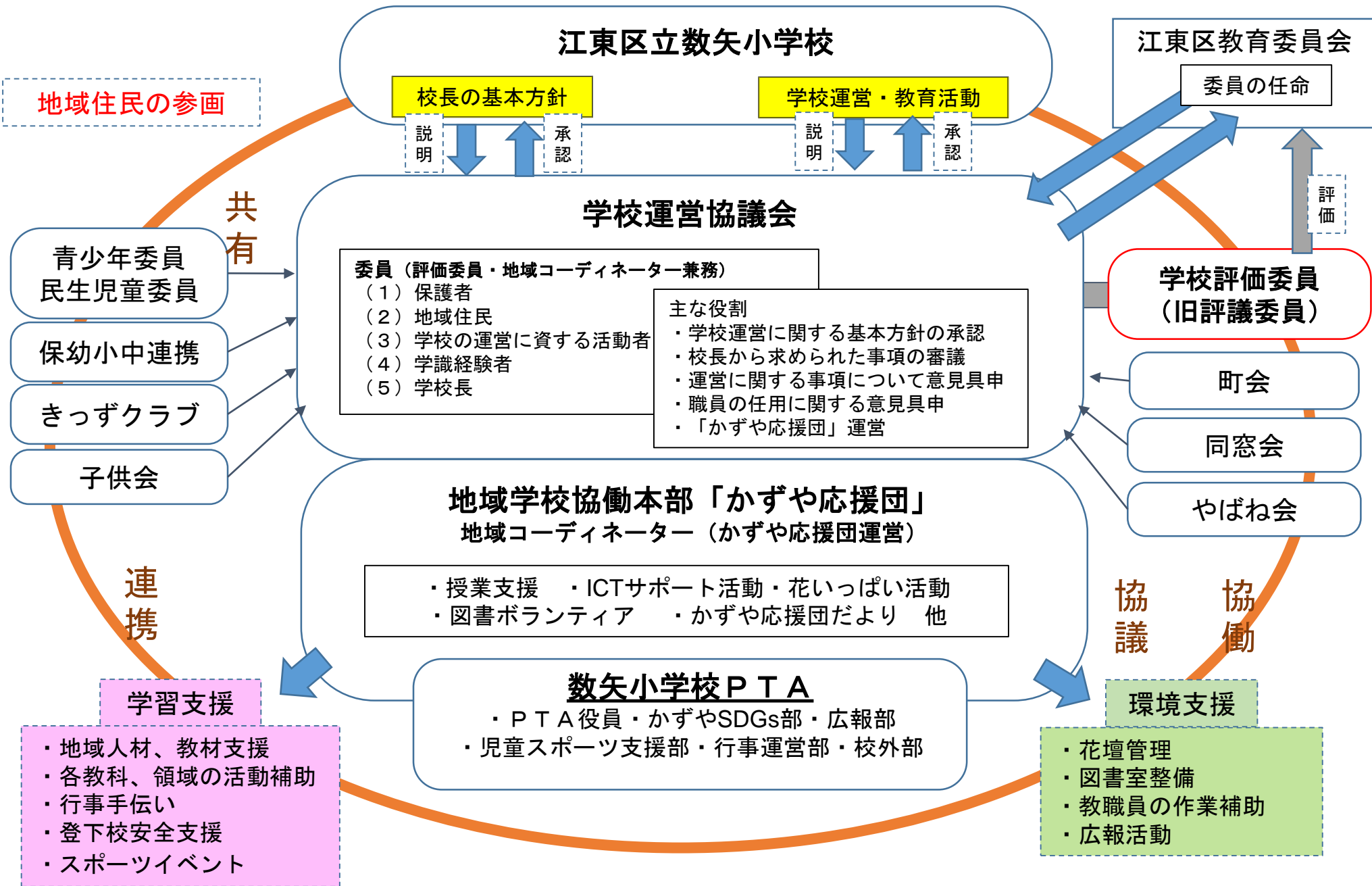
令和7年度より、数矢小学校はコミュニティー・スクールになります。SDGsにもつながる持続可能な地域社会の一員としての資質能力を育てます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5の 規定及び江東区学校運営協議会規則を設けて設置

学校と地域が一体となって子どもたちの
生きる力をより一層育むことを目指す。



数矢小学校コミュニティ・スクール「CSかずや応援団」案



地域学校協働本部

(かずや応援団)とは

平成29年3月に社会教育法の改正により「地域学校協働活動」が法律に位置付けられました。東京都では平成20年度から取り組んでいた「学校支援地域本部」を基盤に整備を進めています。「地域学校協働本部」は、学校支援活動をはじめとして幅広い地域住民の参加を得ながら「学校を核とした地域づくり」を目指すための「仕組み」です。

数矢小学校では、この取組を平成27年度から始めました。「かずや応援団」は地域の方々の力をお借りしながら、数矢小学校を支援(応援)しています。

<https://www.city.koto.lg.jp/583210/kyoudou.html> 江東区 HP「地域学校協働本部事業」

かずや応援団 図書ボランティア



図書ボランティア 募集中!

時間・場所

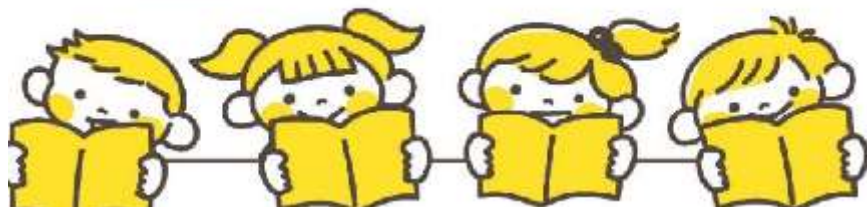
毎週木曜日
10~12時
4階 図書室

活動内容

蔵書整備
室内装飾
読み聞かせ
学級文庫整備
など

ここがおすすめ!

子どもたちと
触れ合いながら
できます!



かずや応援団 花いっぱい活動



保護者の仲間作り

校庭の周りにお花の植栽コンテナを置き、理科の授業支援などの活動を行っています。
2023年11月12日には、参加者を募り、有志の親子14組にご協力いただき、卒業式、入学式シーズンに向けて学校が華やかになるようにプランターに花の苗植えを行いました。
今後もこのような活動を通して、土に触れる機会、親子いっしょに苗を植えるといった機会を作っていきたいと考えています。

第2学年 生活科「まちたんけん」



第2学年では、「まちたんけん」という生活科で、身近な人々に対する気付きに重点を置き、地域のお気に入り施設や、もっと知りたいことについて、その施設の方にインタビューを行い、施設の秘密やそのよさに気付くようにしました。国語科の学習で培った資質・能力を生かして、地域の方と関わりや対話を広げることができるようにしていきました。かずや応援団の皆さんが、地域の皆さんと繋いでくださいました。



木場の町らしい行事です。やばね会のみなさんが、毎年、木に親しむことをねらいとして開いてくださいます。こどもたちは熱心に、楽しそうに作品作りに取り組んでいました。

振り込め詐欺防止キャンペーン



銀行の方、警察の方が行われる「振り込め詐欺防止キャンペーン」に、代表委員会児童が参加してきました。奉仕活動も地域学習の一つです。ピーポ君も一緒でした。

たくましい子 響き合える子 よく考える子

学年会 教材研究・授業研究・研修をする先生



学校教育目標を達成するため、数矢小学校の教職員は日々、研究・研修をし、努力しています。

ご清聴ありがとうございました。

